

【令和元年度 第1回 外国籍市民施策懇話会議事要旨】

日 時 令和元年6月28日（金）18：30～20：00
場 所 市役所 東館3階 会議室10
出席者 委員…阿曾、糸魚川、桑原、嶋原、高橋、長山、野間、森
事務局…水野課長、加藤係長、真野
傍聴者 2名

1. あいさつ

豊明副市長より挨拶。

2. 委嘱状交付

- ・代表として「森 顕子」委員に豊明副市長より交付
- ・その他の委員については、席に配布にて省略
- ・交付後、懇話会委員、事務局の自己紹介

3. 会長及び副市長の選出について

- ・会長は豊明市外国籍市民施策懇話会運営規則第5条第2項の規定より委員の互選。野間委員より高橋委員が推薦され、他委員より異議なく高橋委員を会長とする。
- ・副会長は同条第4項の規定により会長が指名、阿曾委員を副会長とする。（以後、会長が議事を進める

4. 豊明市の外国人市民の動向について

(事務局)

- ・外国人市民の動向についてデータ（国籍別外国人数、外国人住民の推移、総人口に占める外国人の割合）を基に事務局から説明。

(委員からの意見)

- ・無国籍の人はどのような人か。
→把握していないため、確認します。（事務局）
- ・外国人市民が増加しているのはわかるが、何人入ってきて、何人出て行ったかがわからない。増加の内訳が欲しい。
→帰化した人数もあると良い。

5. 第2次多文化共生計画に基づく関連事業について

(事務局)

- ・第2次多文化共生計画について平成30年度までに実施したこと、令和元年度以降に実施予定のことについて事務局から説明。

(委員からの意見)

- T I R Aから渡している商品券は金額にすると年会費相当。有償ボランティアの話も出るが運営が立ち行かなくなる。日本語教室はベトナム人が増加して会場が手狭になっている。
- 学校でも携帯翻訳機や三者通訳について話がある。
 - ポケトークは文章で訳すと誤訳がある。単語で伝えることが多い。三者通訳のほうが実用的ではある。
- 市役所に相談は来るのか。
 - 通訳を必要としてくる人はいるが相談は市役所には来ていない。(事務局)
- 通訳のところへ来た人から不安を聞くことはあるか。
 - 年金の問題は相談がある。支払いが義務になって払えないなどの相談が来る。
 - 期間が長かったときは滞在期間がそこまで長くないため支払わない人もいたが、10年になったので頑張って払う人がいる。
 - ベトナムはわからないが、ブラジルは支払う義務がある。日本で支払ってもブラジルで支払っても合算される。
 - 仕事をしている人は企業がやっているので仕組みを知らないかもしれない。
- 今は外国人の高齢者が少ないが、高齢化が進むと行政の対応ができるようにしておかないといけないのではないか。
- 外国人は119番、110番を知らない人もいる。子どもたちが知らないこともある。
 - パンフレットで後ろになっているものが多い。前にして欲しい。
 - 海外では消防と警察が統一されていて、電話の後に振り分けされる。
- ベトナム人の親で子どもが学校でも日本語のため、ベトナム語も話して欲しい。
- ベトナム人の団体でも市の備品は借りられるか。
 - 登録があれば可能。

6. 令和元年度のスケジュールについて

(事務局)

- 今年度のスケジュールと今後の取組として検討していることを事務局から説明。

(委員からの意見)

- 外国人の困っていることを聞き出しはできないか。
- 地域社会への参画促進を重点的に考えないといけないのではないか。
- 意見交換会は例年と同じメンバーになるか。ベトナム人が増えているのなら、ベトナム人がいないと困っていることがわからない。呼ぶ人を検討して欲しい。
 - ベトナム人を雇っている企業の人を呼ぶのも良い。
- 市民の意見が必要なので、外国の方がいて欲しい。

次回開催日 令和元年10月上旬ごろを予定（日程は事前に調整）